

# かんりょう しんこう じょどうし こうぎ 完了進行と助動詞-講義

## 1 導入

この講義の核心は、現在完了、進行形、助動詞を別々の文法項目として覚えるのではなく、「話し手がいまだここに立って、どれだけ断定するか」という2軸で整理することである。I lost my key. と I have lost my key. の差も、He is always complaining. の含意も、We may need to revise the plan. の弱い断定も、この2軸で説明できる。

## 2 中心課題

なぜ「今鍵がない」なら現在完了が自然なのか。なぜ is always complaining は単なる進行中でなく話し手の不満も帯びうるのか。なぜ事務や学術では may や would が重要になるのか。

## 3 用語

- 現在完了: 過去の出来事を現在の状態や関連へ接続する形
- 進行形: 継続中・一時性・反復への話し手の見方を示す形
- 助動詞: can, may, must, would など、可能性・義務・丁寧度を調整する語
- 現在関連性: 過去の出来事が今の判断や状態に効いていること

## 4 方針

- 過去を述べるだけか、現在と結ぶかを先に決める
- 進行形は動作の継続だけでなく、一時性や話し手の評価も確認する
- 助動詞は意味だけでなく、断定の強さと場面への適合で選ぶ

## 5 直感的な説明

現在完了は、「過去に起きたこと」を報告するのではなく、「その結果が今ここに残っている」と言いたいときの形である。

### Display

I lost my key. 過去の出来事

I have lost my key. 今鍵がなくて困っている

進行形も単純に「～している」と訳すだけでは足りない。He is always complaining. は、反復に対する話し手の不満や倦怠感を含みやすい。

また、助動詞は事実を足すのではなく、断定を弱めたり、丁寧度を調整したりする。事務や学術では、この微調整が REG に直結する。

## 6 厳密な説明

### 6.1 1. 過去形と現在完了の違い

過去形は出来事を過去の一点または過去の流れの中へ置く。現在完了は、その出来事を現在へ引き寄せる。

Correct

I have finished the report, so we can send it now.

[TNS] 完了の結果が現在の行動へ直結している。

Correct

I finished the report yesterday.

[TNS] 過去の時点へ配置している。

### 6.2 2. 進行形は一時性と含意を持つ

進行形は、継続中であることに加え、「いまはそういう状態だが恒常的ではない」感覚や、always と組み合わせることによって不満・皮肉の含意を作ることがある。

Display

She is staying with her aunt this week.

He is always leaving the lights on.

### 6.3 3. 助動詞は断定の強度を調整する

助動詞	基本機能	文体上の注意
may	可能性・控えめな判断	学術で断定を弱める
must	強い推量・義務	事務では強すぎることもある
can	能力・可能	制度説明では is able to より自然なことが多い
would	控えめな意志・仮定・丁寧化	依頼や保留表現で重要

### 6.4 4. TNS と REG はここでも接続する

We must revise the plan. は内容によっては正しいが、学術や協議の文脈では We may need to revise the plan. のほうが自然なことがある。ここでは時制の問題でなく REG の問題に見えやすいが、助動詞という時間・可能性の文法装置を通して実現されている。

## 7 最小の具体例

### 7.1 例 1: 現在完了

Correct

I have left my notes at home, so I cannot check the figures now.

いま かくにん げんざいかんれんせい じゅうよう げんざいかんりょう  
今確認できないという現在関連性が重要なので現在完了になる。

### 7.2 例 2: 助動詞の丁寧化

Correct

We may need to postpone the meeting until next week.

よていへんこう つ だんてい すこ おさ じむ きょうぎ ぶんみやく あ  
予定変更を告げるとき、must より may need to のほうが断定を少し抑え、事務・協議の文脈に合いやすい。

## 8 別の見方

### 8.1 現在との距離として把握する観点

かこけい げんざいかんりょう さ じかん さ げんざい きより さ はあく せいり  
過去形と現在完了の差は、時間の差というより現在との距離の差として把握すると整理しやすい。

### 8.2 断定の調整器として把握する観点

じょどうし いみ た だんてい きょうど ちようせい そうち はあく つか わ あんてい  
助動詞は意味を足すというより、断定の強度を調整する装置として把握すると使い分けが安定する。

## 9 見分け方

- 過去の出来事を述べているだけか、今の状態へ接続しているかを確認する
- always と進行形が組んでいるときは、不満や評価の含意を疑う
- 依頼、提案、学術的判断では、助動詞が強すぎないかを確認する

## 10 どこまで成り立つか

こうぎ ひょうじゅんてき えいやく せつめいぶん じむ ぶんみやく たいしやう れきしてきげんざい こうごてき かんりやうしんこう しょうりやく  
この講義は標準的な英訳・説明文・事務文脈を対象にしている。歴史的現在、口語的な完了進行の省略、  
ちいきさ じょどうし うんよう あつか  
地域差のある助動詞の運用までは扱わない。

## 11 最終形

Display

かんりょうしんこう じょどうし きほん  
完了進行と助動詞の基本

げんざいかんりょう かこ げんざいかんれんせい  
現在完了 = 過去 + 現在関連性

しんこうけい けいぞく いちじせい ひょうか  
進行形 = 継続 + 一時性 / 評価

じょどうし かのうせい ぎむ ていねいど ちょうせい  
助動詞 = 可能性 / 義務 / 丁寧度の調整

ひとこと  
12 一言でいうと

かんりょう しんこう じょどうし じかん だんてい びちようせい ぶん ぼめん あ そうち  
完了・進行・助動詞は、時間と断定を微調整して、文をその場面に合わせるための装置である。

かんれん  
13 関連リンク

→ 講義 物語の時制 [lecture](#) [english](#) [tense](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/english/tense/物語の時制-講義/>

→ 問題演習 完了と過去の使い分け [exercise](#) [english](#) [tense](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/english/tense/完了と過去の使い分け-問題演習/>

→ 講義 レジスターの基本 [lecture](#) [english](#) [register](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/english/register/レジスターの基本-講義/>

→ 定石集 誤りタグ体系 [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)  
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>